

## 令和6年度千葉県造血幹細胞移植推進協議会における開催結果概要

### 1 日時

令和7年2月25日（火）午後6時30分から午後7時40分まで

### 2 場所

Web開催（Zoom）

### 3 出席委員

三村委員、成田委員、金江委員、梅田委員、鎗田委員、串間委員、布施委員

### 4 議事概要

#### ■ 報告事項

造血幹細胞移植推進事業実施状況及び現状について

<質疑応答>

（委員）

日本骨髄バンクもHPに動画があるが、千葉県でも啓発用の動画を作成いただき感謝している。動画は皆さんに広く見ていただいて効果があるものなので、色々な機会を通じて広報をお願いしたい。

また、リーフレット及びポスターの作成及び配付についても感謝する。駅貼りポスターについては先日千葉駅で拝見したところである。今後とも広報をお願いしたい。

（委員）

千葉県の新規ドナー登録の年代が近隣都県と比べて比較的高齢となっていることだが、これは登録した場所ごとに分けられていると考えてよいか。千葉県民が東京都で登録した場合は東京都での登録となるか。

（事務局）

そのとおりである。

（委員）

千葉県の方は都内に通勤・通学されている方が多いので、千葉県民でも東京都の献血ルームで登録する方がいるのではないかと思われる。

#### ■ 協議事項

令和7年度造血幹細胞移植推進事業実施計画（案）について

<質疑応答>

（委員）

リーフレット・ポスターについては、来年度も引き続きお願いしたい。

また、ドナー支援事業については、令和5年5月末に県内54の市町村全てで導入された。協力に感謝する。県の要綱改正後のフォローについてもお願いしたい。

ドナー休暇制度については、令和7年1月末現在、国内で872社が導入企業・団体として日本骨髄バンクのホームページに掲載されているが、実際には既にドナー休暇制度を導入していても日本骨髄バンクに申出を行っていない企業が多いと感じている。色々な機会を通じて、企業に導入の確認を行ってほしい。

令和6年12月13日に骨髄ドナー登録説明員養成講座を開催いただいたが、受講者10名のうち4名の方に実地研修としてドナー登録会に参加いただいている。引き続きフォローをお願いしたい。

(委員)

ドナー登録は献血ルーム等で行われているが、献血をきっかけにして登録する方が多いと思われる。ドナーの方に聞いてみても献血の際に登録された方が圧倒的に多いので、献血率を上げていくことも大事だと思っている。学生に聞いてみると献血をしたことがない人がたくさんいる。献血離れが若年層のドナー減少にもつながっていると思うので、献血者を増やしていくべきである。

また、若年層のドナー登録を増やすにはSNSも非常に重要だと思う。SNSの啓発強化については是非検討いただきたい。

## ■ その他

千葉骨髄バンク推進連絡会の活動について

<質疑応答>

(委員)

若者が集まる場所は重要だと思うので、大学などの学校への啓発を増やすことには賛成である。マラソンなどのスポーツイベントでの啓発もよいと思う。

ドナーは若い人の方が移植の成功率が高いので、同じHLA型なら若い人をドナーに選んでいる。是非若いドナーを増やしていただきたい。

(委員)

若い人が集まる場所で活動されているところを実際に拝見した。千葉県は若い人が集まる場所があるが、その近辺での活動は制限されることはあるのか。

(委員)

以前働きかけたことがあるが実現できなかった場所もある。